

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が1,448例(男性765例(10歳代119例, 20歳代205例, 30歳代146例, 40歳代133例, 50歳代79例, 60歳代30例, 70歳代5例, 80歳代6例, 90歳代3例, 年齢非公開39例), 女性643例(10歳代78例, 20歳代200例, 30歳代111例, 40歳代95例, 50歳代77例, 60歳代24例, 70歳代15例, 80歳代14例, 90歳代7例, 年齢非公開22例), 性別及び年齢非公開40例)あり, 本年の累積報告数は12,073例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が2例(30歳代男性1例, 10歳未満女性1例)ありました。本年の累積報告数は24例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(80歳代男性)(第31週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は11例となりました。
京都市では, 「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(医療衛生企画課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ **梅毒**の報告が1例(20歳代男性)(第31週追加報告分)ありました。感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は40例となりました。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第32週, 京都市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者が1,448例報告され, 本年の累計陽性者数は12,073例になり, 8月20日には緊急事態宣言が発令されました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 3例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 152例(肺結核 56例, その他結核 40例, 潜在性結核感染者 56例)うち喀痰塗抹陽性 25例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 1,448例**【1月以降の累積報告数12,073例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 24例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 11例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 40例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

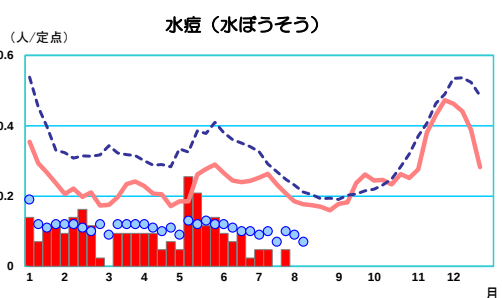
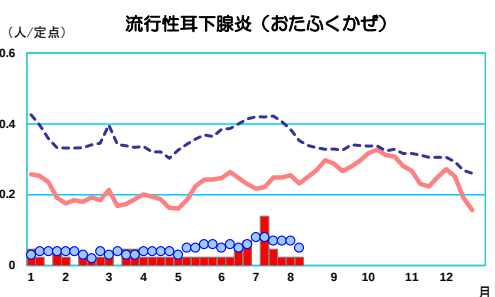
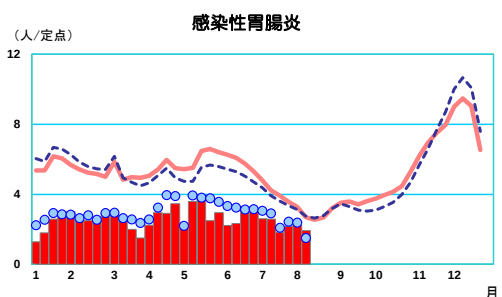
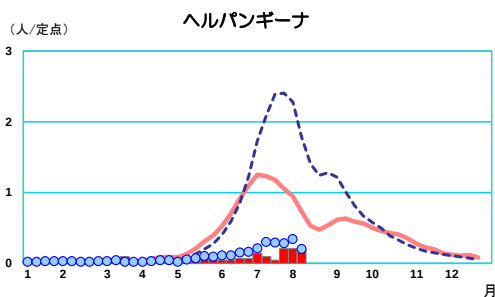
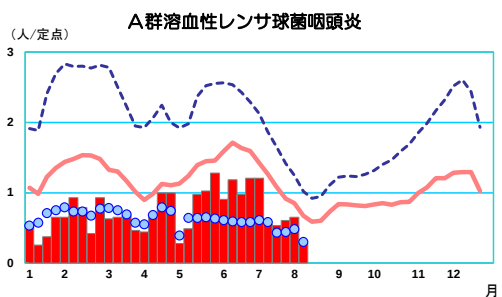
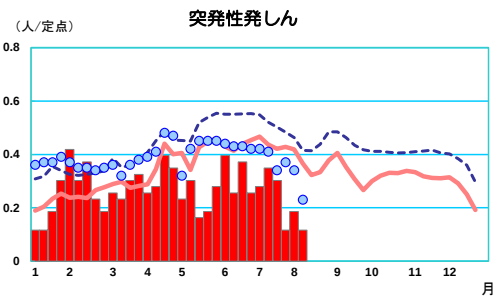
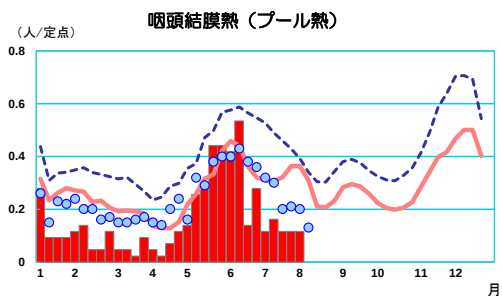
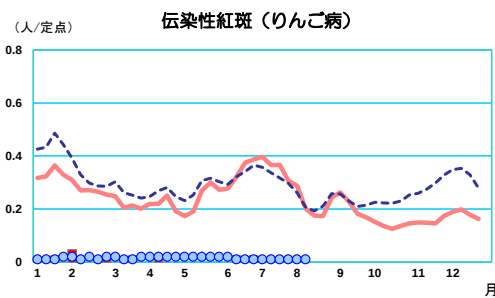
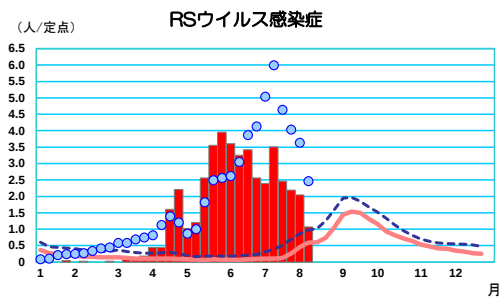
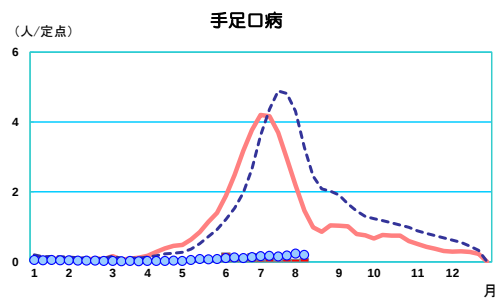
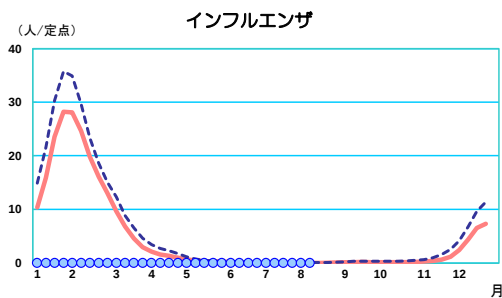
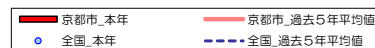
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1. 93	83
	② RSウイルス感染症	1. 07	46
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 28	12
	④ ヘルパンギーナ	0. 19	8
	⑤ 突発性発しん	0. 12	5
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

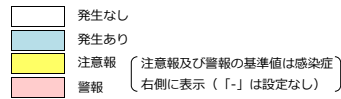
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年8月19日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

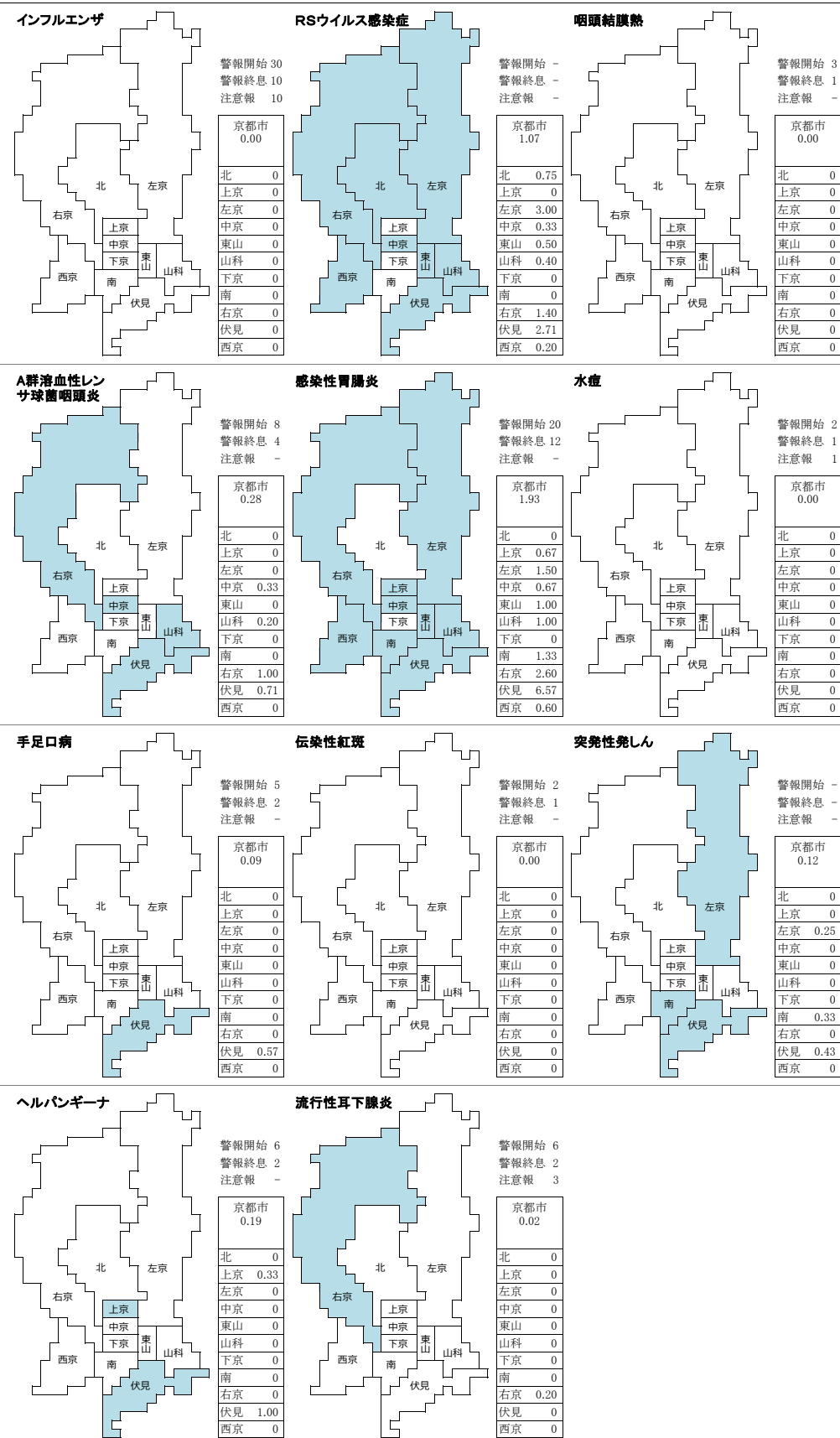
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第32週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第32週(8月9日～8月15日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第32週、京都市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者(以下、陽性者)が1,448例報告され、本年の累計陽性者数は12,073例になり、8月20日には緊急事態宣言が発令されました。

COVID-19の検査陽性者の人口10万当たりの週移動平均を見ると、全国及び京都市共に同様の推移を示し、第29週あたりから急激に新規陽性者数が増加し、現在、新たな流行期を迎えています(図1)。

各流行期を2020年第14週～第19週を「第1波」、2020年第29週～第37週を「第2波」、2020年第50週～2021年第7週を「第3波」、2021年第14週～第24週を「第4波」、2021年第29週～第32週を「第5波」とすると、年齢階級別比率は、「第5波」で60歳代以上が極端に減少しており、年齢によるワクチン接種率の差が影響していると考えられます(図2)。

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

図1 新規陽性者数(人口10万人当たり・週移動平均)

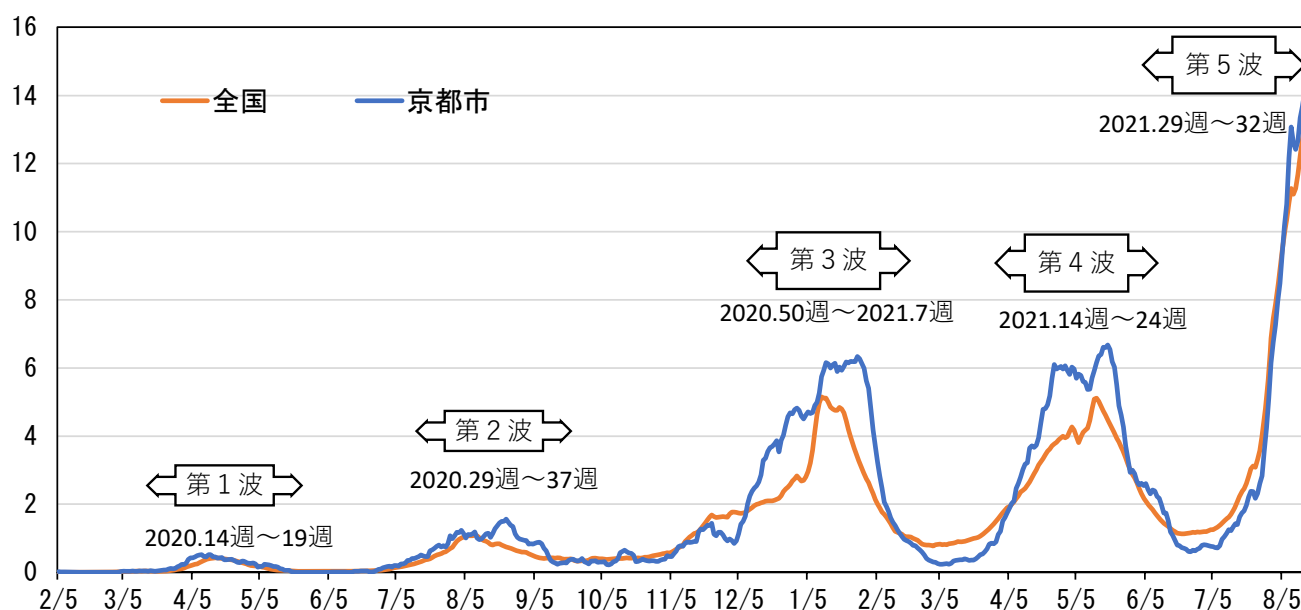
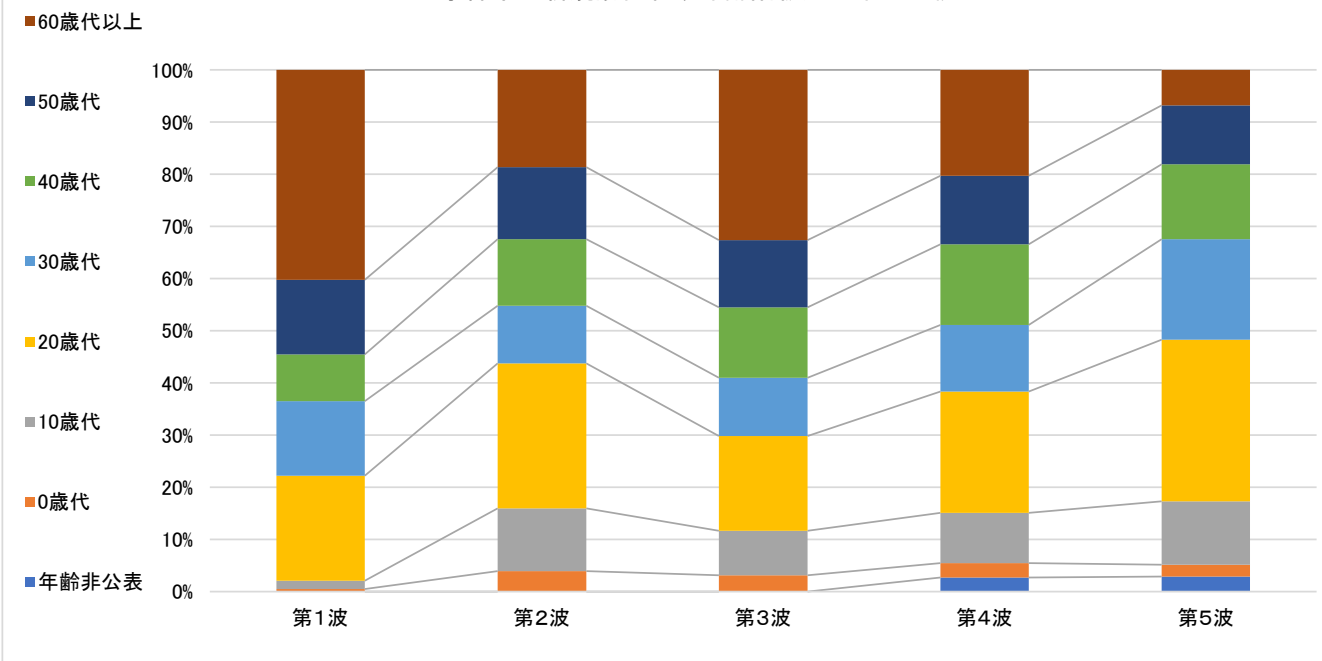


図2 京都市の新規陽性者数年齢階級別比率の比較



京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:2021年第32週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年8月9日～2021年8月15日

データ入手日:2021年8月19日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～	1歳 1歳 1歳 5歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～	60歳～ 60歳～ 60歳～	70歳～ 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計																						
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	46	9	8	10	9	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽 頭 結 膜 熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		12	-	-	-	-	1	3	2	-	2	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		83	-	4	18	8	10	7	6	5	5	-	4	8	-	8	-	-	-	-	-	-
水 痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手 足 口 病		4	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		5	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		8	1	-	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ（※1）	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	1.07	0.21	0.19	0.23	0.21	0.19	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.28	－	－	－	0.02	0.07	0.05	－	0.05	0.07	－	－	－	－	0.02						
感染性胃腸炎		1.93	－	0.09	0.42	0.19	0.23	0.16	0.14	0.12	0.12	－	0.09	0.19	－	0.19						
水 痘		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		0.09	－	－	0.07	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.12	－	0.07	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.19	0.02	－	0.05	0.09	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎（※2）	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎（※3）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第32週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年8月19日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		103	151	106	94	88	46
咽 頭 結 膜 熱		5	7	5	5	5	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	24	23	26	28	12
感染性胃腸炎		112	111	78	93	95	83
水 痘		2	2	－	2	－	－
手 足 口 病		2	4	1	3	3	4
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－
突発性発しん		12	15	13	5	8	5
ヘルパンギーナ		6	4	2	9	9	8
流行性耳下腺炎		－	6	2	1	1	1
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	2	－	3	2	1
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		294	326	230	241	239	160

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		2.40	3.51	2.47	2.19	2.05	1.07
咽 頭 結 膜 熱		0.12	0.16	0.12	0.12	0.12	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.21	0.56	0.53	0.60	0.65	0.28
感染性胃腸炎		2.60	2.58	1.81	2.16	2.21	1.93
水 痘		0.05	0.05	－	0.05	－	－
手 足 口 病		0.05	0.09	0.02	0.07	0.07	0.09
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－
突発性発しん		0.28	0.35	0.30	0.12	0.19	0.12
ヘルパンギーナ		0.14	0.09	0.05	0.21	0.21	0.19
流行性耳下腺炎		－	0.14	0.05	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	0.20	－	0.30	0.20	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		6.84	7.73	5.35	5.83	5.71	3.80

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。